

NPO法人 おこしやす“やましな”協議会

おこしやす “やましな” ニュース vol. 10



発行：平成20年12月

事務局：山科経済同友会TEL501-1818, FAX501-2220

山科区役所総務課TEL592-3066, FAX502-1639

1 「源氏物語の夕べin勸修寺」に協力

紫式部の祖先である藤原高藤と宮道列子は、現在の勸修寺となる場所で運命の出会いを果たしました（今昔物語）。11月24日（月・休）、源氏物語千年紀を記念して、勸修寺において、区役所主催で「源氏物語の夕べin勸修寺」が行われ、雨にもかかわらず、約600名の区民、観光客が訪れました。協議会では前回お知らせしたとおり、「京都“やましな”で平安時代をめぐる」や「記念展示」など、事業実施に全面的に協力しました。

○「京都“やましな”で平安時代をめぐる」で山科の魅力を紹介



専門家の解説を聞きながら小野周辺の史跡をめぐるイベントに約40名の方が参加され、観光産業強化PTのメンバーが中心となって、イベントの実施に取り組みました。

当日は、残念ながら雨天での実施となりましたが、参加者は平安時代の情景に思いを巡らせながら、歴史ある山科の魅力を肌で感じておられました。また、清水焼の「高藤（たかふじ）・列子（たまこ）人形」を参加記念品として配り、大変喜ばれました。

○「記念展示」で山科の特産品を披露

山科の特産品を扱う業者の皆様が、勸修寺山門内において商品の展示・販売を行いました。

観光基盤強化PTの企画の下、16業者の出展があり、山門内のテントにはそれぞれの商品が所狭しと並び、参加者は足を止めて興味を示していました。飴やおかき、清水焼等の商品は購入することもでき、山科の土産物として多くの方に紹介することができました。



○その他のイベントの様子



記念夜間拝観

紅葉のライトアップ、非公開重要文化財の特別公開を楽しめました。

記念講演会

京都橘大学文学部教授，甲斐先生の講演会には約60名の方が参加され，熱心に耳を傾けていました。



陶灯籠の設置

清水焼団地協同組合と京都橘大学の協力の下，勸修寺山門までの通路を陶灯籠の明かりが照らしました。

和の演奏

勸修寺寝殿前を舞台に，京都橘大学の箏曲部の学生が箏を演奏し，道行く人たちは幻想的な世界に引き込まれました。



2 京都駅においてキャンペーン活動を実施

秋の観光シーズンの最中である11月20日、京都駅前広場において、出竿会長をはじめとした会員が、山科の魅力を紹介するキャンペーン活動を東京に引き続いて実施しました。

会員は水色の揃いのおこしやすジャンバーを着用。京都を訪れた観光客に、区内のイベント（源氏物語の夕べ in 勧修寺、小町祭、山科義士まつり）のチラシなどを配布しました。三連休を前にした秋の京都駅には、平日の午前中にもかかわらず多数の観光客が行き交い、用意した1,000セットのチラシは瞬く間になくなりました。

配布には随心院のミス小野小町にも協力していただきました。和服姿のミス小町は外国人をはじめとした道を急ぐ観光客の注目の的となっていました。

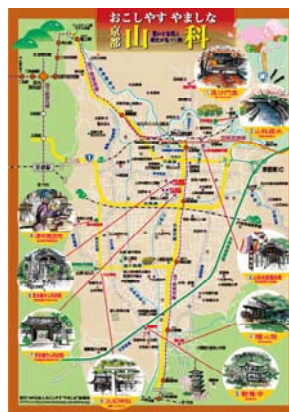


3 「おこしやす やましの マップ」を増刷

協議会では、区内全域図に鮮やかなイラストで主な史跡を紹介している「おこしやすやましのマップ」を作成・配布していますが、この度、新情報を加えた改訂版2万部を増刷しました。

このマップは地下鉄柳辻駅や小野駅で配布しています。

また、秋の観光シーズンには、老人クラブ連合会の皆さんの協力を得て、山科駅前で訪れた観光客に配布されました。



おもて



うら

4 「やましの探訪記」を修学旅行生に配布

山科の詳細な観光情報を掲載しているポケットサイズの「やましの探訪記」も引き続き配布しています。今年度、情報発信強化PTで検討を重ね、12月から修学旅行生を対象として他都市の学校・生徒に配布することとなりました。京都市運営の修学旅行に役立つ情報を発信しているインターネットホームページ「きょうと修学旅行ナビ」により、他都市の学校からの申込みを受け付けています。

また、会員の皆さんで配布していただける場合には、事務局（区役所）まで連絡をお願いします。